

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需			公的関与 5		作成日		30年 6月 25日					
事務事業名		高齢者福祉事業					シート作成部署							
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち					課名	長寿福祉課		係名	高齢福祉係			
		2-2 支えあいを実感できるまちをつくる					シート作成者							
	施策	2-2-3 高齢者福祉の推進					予算費目	会計	一般					
								款	3					
主要施策	④ 保健福祉サービスの推進					項		1						
	⑤ 生きがいづくりと社会参加の促進					目		2						
個別計画名		高齢者福祉計画、介護保険事業計画												
住民との関わり		その他												
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）									
	65歳以上の高齢者				高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも健康で生きがいにあふれた生活を送ることができる環境づくりを進める。その中で、介護保険サービスを補足する形で提供するサービスなどを推進し、たとえ介護が必要となっても高齢者が住み慣れた自宅で生活できるような体制を作る。									
事業内容	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）													
	緊急通報業務・・・一人暮らし高齢者等で発作を生じる持病がある方に緊急通報装置の設置を行う。 シニアクラブ補助事業・・・地域の高齢者による相互支援活動等に対し助成する。 シルバー人材センター補助事業・・・高齢者の社会参加の促進、生きがい就労への支援を行う。 ホームケア事業・・・在宅寝たきり高齢者等に対し、おむつ代等の助成を行う。													
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度 (年間) <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし												
根拠法令・要綱等		東員町緊急通報装置事業実施要綱、東員町シニアクラブ補助金交付要綱、東員町福祉部に関わる補助金等交付要綱、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律、東員町ホームケア事業実施要綱、												
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）						
全体事業費（千円）A+B		0			21,989			29,340						
財源内訳	国庫支出金		0			0			0					
	県支出金		0			0			0					
	地方債		0			0			0					
	その他特定財源		0			0			0					
	一般財源		0			21,989			25,578					
直接事業費（千円）A		0			21,989			25,578						
人件費（千円）B		0			0			3,762						
内訳	一般職員（人・千円）		人		0		人		0		0.57 人		3,762	
	臨時職員（人・千円）		人		0		人		0		人		0	
成果指標	成果指標名				単位	29年度		30年度		31年度				
						目標		実績		（目標）		（目標）		
	①	緊急通報装置設置台数			台	60		27		45		45		
	②	シニアクラブ会員数			人	2,600		2,232		2,600		2,600		
	③	シルバー人材センター会員登録者数			人	310		305		310		310		
	④	おむつ助成人数			人	77		67		75		75		
	⑤	寝具洗濯乾燥サービス費利用回数			回	12		4		8		8		
⑥	理美容サービス費利用回数			回	36		25		36		36			
説明														

事業名	高齢者福祉事業	シート作成課	長寿福祉課
-----	---------	--------	-------

一次評価者	長寿福祉課長	二次評価者	福祉部長
-------	--------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	高齢者の社会参加や生きがいづくりの場を提供するため、また、住み慣れた地域で、いつまでも健康で生きがいにあふれた生活を送ることができる環境づくりを進めるため必要な事業と考えます。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	緊急通報業務やホームケアなどの事業を介護保険サービスを補足する形で提供することにより、高齢者が住みなれた地域で生活を送ることができる環境を作るために有効と考えます。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	概ね目的を達成していますが、単位シニアクラブの組織率など目標に達していない事業もあります。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	持続可能な事業とするため、ホームケア事業に関しては助成額の見直しや要件の拡充を図りました。

本事務事業の実施適切性の説明

高齢者福祉の充実や、介護保険サービスを補完する事業であり、実施する必要があります。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
今後の改革・改善目標	高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも健康で生きがいにあふれた生活を送ることができる環境づくりを進めるため、介護保険サービスを補足する形で提供するサービスなどを推進し、たとえ介護が必要となっても高齢者が住み慣れた自宅で生活できるような体制を作ります。また、高齢者の社会参加や生きがいづくりの場を提供するため本事業を継続します。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
コメント	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう本事業を継続する必要があります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--